Ver5.1.1

下部消化管手術における閉腹法についての観察研究（抗菌糸と非抗菌糸の比較）のデータを用いた腹壁瘢痕ヘルニア(脱腸)危険因子に関する研究

１．研究の対象

「下部消化管手術における筋膜閉鎖法についての前向き観察研究（抗菌糸と非抗菌糸の比較）」に同意、登録された方

２．研究目的・方法

本研究は、「下部消化管手術における筋膜閉鎖法についての前向き観察研究（抗菌糸と非抗菌糸の比較）」に登録された方を対象に、下部消化管手術における腹壁瘢痕ヘルニア(脱腸)の発症について、手術の手技・糸の種類などの様々な原因と腹壁瘢痕ヘルニア発症との関係について検討するために行います。研究期間は 3年6ヶ月 （2026年3月31日）を予定しております。

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月日、イニシャル、手術日、手術方法、手術で腹部を閉じる際に使用した糸の太さ、腹部 CT 画像(腹壁瘢痕ヘルニアの有無や撮影体位等の情報を使用します) 等

４．外部への試料・情報の提供

施設、データセンター、研究事務局間の画像を含むデータのやりとりは、パスワードを付与したデータファイルを用いてCD-ROM、USBフラッシュメモリーにて行います。またパスワードの伝達はデータファイルと同時に行わないことで個人情報の管理を行います。

５．研究施設・責任医師

1	大阪警察病院	松田　宙
2	地域医療機能推進機構(JCHO)大阪病院	井出　義人
3	大阪みなと中央病院	木村　文彦
4	大阪府済生会千里病院	武元　浩新
5	大阪急性期・総合医療センター	西沢　佑次郎
6	大阪国際がんセンター	安井　昌義
7	大阪労災病院	鄭　充善
8	関西労災病院	畑　泰司
9	国立病院機構大阪医療センター	高橋　佑典
10	紀南病院	林　伸泰
11	市立池田病院	太田　博文
12	市立吹田市民病院	岡村　修
13	市立豊中病院	池永　雅一
14	日本生命済生会日本生命病院	山下　晋也
15	市立東大阪医療センター	中田　健
16	兵庫県立西宮病院	小森　孝通
17	箕面市立病院	團野　克樹
18	八尾市立病院	吉岡　慎一
19	りんくう総合医療センター	三宅　正和
20	大阪大学	植村　守

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
大阪急性期総合医療センター 消化器外科
研究責任者：西沢　佑次郎
相談窓口：消化器外科
連絡先：０６−６６９２−１２０１（代表）

研究代表者：
大阪大学大学院医学系研究科　外科系臨床医学専攻　外科学講座消化器外科
三吉　範克